

緑化委員会広報

中高木二百六十本をせん定

造園業者「風雅苑」が実施

造園業者「風雅苑」に委託した今年の中高木せん定作業は1月末から約2カ月近くかけて実施された。特に今年には2号棟駐車場側の東斜面と3号棟入り口側、大松台小学校の緑道側の中高木を重点的に行っ

た。5年計画で始めたタウンハウスを中心とする生垣の枯れ死対策が一段落（今年の全面補植改修は1戸）したため、理事会の承認を得て生垣用予算を中高木せん定に転用、例年になく多く

の中高木の整備が可能になった。2号棟駐車場の中高木はここ3年間、ほとんど手を入れていなかったが、今年は桜など一部の中高木を除いて全面的に整備し、景観が見違えるほど明るくなった。周回道路沿いに植えられているイチヨウ4本も樹木の成長を止める「止め刈り」をした。四方に伸びる枝を切り落とし丸坊主に裁断、駐車場の車両に落ちる枯れ葉被害も多少解消できそうだ。



理事会と合同で草刈り作業＝6月1日



東、南側のユキヤナギ伐採作業＝4月27日

ユキヤナギを伐採 成長止め若返り

5月の定例作業は連休のため、4月27日（日）に前倒しして東側と南側バス通り側斜面のユキヤナギのせん定作業を実施した。

ユキヤナギは今年も真っ白な可憐な花を咲かせ、春の香りを楽しませてくれた。しかし年々、背丈が伸びて歩道側に垂れ下がり、行人の障害になってきたため、開花後に大掛かりなせん定に踏み切った。

背丈を約三分の一にそろえ、枯れた枝などを裁断した。来春には新芽が出て、またきれいに咲きそうこうとでしょう。



夏祭り用のジャガイモ栽培

ジャガイモ栽培

今年も7月の団地夏祭りに使うジャガイモを管理事務所入り口の花壇用地で栽培している。種イモは緑化委員会の林委員長から提供を受け、植え付けた。



きれいに手入れされた中高木

定例作業報告 (3月16日)

生育は順調で、昨年以上の収穫が見込まれそうだ。7月の収穫期には今年も子どもたちにイモ掘りをお願いすることになっている。

3月2日（日）管理組合総会前の用具の棚卸しと施肥実施。施肥は年1回、敷地内のすべての樹木に満遍なく散布する作業。手分けして約1時間半近く掛けて散布した。

3月17日（月）管理事務所前の一部プランターの花を植え替えた。夏の花を中心に約50株を購入。有志（林、高村、香村、富田）で作業。

4月6日（日）定例作業前に今年度最後の全体会議。年度内の作業進行状況の報告と新役員の選出。作業は東側歩道脇のアベリアせん定と西側遊歩道の整備。

4月27日（日）5月の作業予定日が大型連休になるため、前倒しで実施。東側と南側の咲き終わったユキヤナギの丈を約三分の一に伐採、作業後、管理組合総会前の最後の委員会を開催、懇談した。

5月25日（日）管理組合総会。理事会新旧役員と各委員会との懇談会参加。
6月1日（日）定例作業。理事会草刈りと合同。



静岡県の朝霧高原
近くにある田貫湖に

ダイヤモンド富主を撮影 湖面に映える10秒間

4月22日、初めてダイヤモンド富主の撮影に出掛けた。うわさでは聞いていたが、現場は深夜から大変な人出(推定三五〇人)で、午前2時45分に到着した時は二つの駐車場はすでに満車。仕方なくUタ

ンして側道に駐車して撮影現場に向かった。ところが、これがまた大仕事。暗闇の中を右往左往して適当な場所を探し歩いたが、どこも押し掛けた写真愛好家の三脚が林立して満杯状態。ようやく少人数の場所を見つけ、頭越しに撮影することを了承してもらい、なんとか撮影時間までに間に合った。太陽が富士山の頂上から姿を見せ始めたのは午前6時5分すぎ。十秒間隔で無我夢中になって連写モードで撮影した。湖面に逆さ富

鶴六アダプト会2年目へ

会長 香村義隆

5月初めに日課としている早朝散歩で、毎日見かける顔なじみの散歩3人組とすれ違った。その際、1人の方から封書を手渡された。便せんの文面には「HT鶴牧6団地の緑化活動の士が映し出され、ダブルダイヤモンドのすばらしい景観が出現した。春とはいえ冷え込んだ寒い夜明け前、撮影は3時間待機してほんの10秒間で終わった。(山城 マコト)

内容、団結力、行動力を知るにつけ自分が住む団地住民との意識の違いを痛感し本当にうらましく思う」と書かれてあった。この方はタウンハウス落合5の住人で、アダプト「落合花の会」の代表をされており、団地横の歩道脇に花壇を作り美化活動を続けている。ところが、作業の協力者がなく、一人で手入れをしているとのことだった。このため、これからはHT鶴牧6団地の緑化活動を住民に広く紹介し、多くの参加者を集めたいとのことでした。

4月中旬、団地横のそよかぜの道二カ所に「鶴六アダプト会」の看板が設置された。わが団地の緑化活動は多摩ニュータウンの団地住民からも広く注目されているようだ。会員同士が協力して、なお一層の美化活動に努めましょう。



▼素晴らしい環境

出演した「東京ビジュアルアーツR-35ベストオブおやじバンド」のライブはプロを育てる専門学校東京ビジュアルアーツの養成専科の1年生たちがイベント制作を課題として取り組んでいます。

末木バンドが特別賞受賞 特別仕立ての会場で熱演

専門学校特有のプロ仕様の音響や照明、モニタールなど素晴らしい環境で演奏できました。生徒主導で企画進行するので、要所はプロの先生がサポートし、演奏者がやりやすい満足できるライブ環境を作り上げていました。

▼若者の熱演にエール
若者たちの熱演はいつも

ながら昔の自分を思い出します。生徒の中でプロとして生き残れるのは一握りでしょうが、将来の自分の重要な記憶と自信になるのだとエールを送りたい気持ちになりました。

しました。バンドとして思いがけない初受賞にメンバー全員が大喜びしました。▼レパートリーを拡大今年からバンド名を「ステージ・フライト・ブルース・バンド」から「STAGE FRIGHT BAND」ND」に変えました。最近ブルース系以外の曲もレパートリーに加え楽しむようになってきました。諸行無常でこれも人間の年輪なのかもしれませぬ。

奈川地区から昨年より出演バンド数を絞り、演奏曲数を増やして「5バンド+ゲスト2バンド」で開催されました。「ベストオブおやじバンド賞」と「審査員特別賞」が設定され、わがバンドは審査員特別賞を受賞



緑化委員会会員
平成20年5月現在
委員長 林▽副委員長 富田▽会計書記 田上
▽役員 石井、昆野、柏木、香村、佐藤、末木
▽顧問 高村
▽委員 会田、阿部、上

編集後記

・2年目を迎えた鶴六アダプト会の新会長に香村義隆さんを選出。「頑張る」という一言が心強い。
・末木親子バンドがコンサートで特別賞受賞。若者を温かく見守るといふ熱血マスターに脱帽。
・写真愛好家の山城さんが寒い夜明けにダイヤモンド富士の撮影を決行、見事な映像をキャッチした。
・寄稿を大歓迎。
(編集担当 富田)